３号様式の１

排　出　量　削　減　計　画　書

	新規　　変更
（宛　先）　京都府知事	令和　8　年　9月　25日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市山科区西野大鳥井町75番地の1	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 株式会社　京都カネヨシ　代表取締役　中塚　浩　　電話番号　075-593-3101

主たる業種	リネンサプライ業					細分類番号	7	8	1	3
事業者の区分	主たる業種を元に右記部門から該当するものを選択　産業部門　(業務部門)　運輸部門									
計　画　期　間	令和8年４月　～　令和11年３月									
基　本　方　針	持続可能な事業を実践していく為には脱炭素化への取り組みが重要ととらえ、温室効果ガス排出量について６％以上の削減を目指す。従業員全員が日々の事業活動の中で省エネを意識し、電力使用量削減に努める。環境負荷の低減に取り組み、消費エネルギーを削減することで目標達成を目指す。　環境問題を経営上の最優先課題と位置づけ、C０２排出量の削減に取り組む。　カーボンニュートラルの実現に貢献すべく、全組織を挙げて環境負荷の低減、C０２排出量の削減を目指す。									
計画を推進するための体制	クリーニング事業部を中心として実施計画の策定、進捗管理方法を構築し実行していく。									

削減率										
温室効果ガスの排出の量		基準年度（2023～2025）年度		第１年度（2026）年度		第２年度（2027）年度		第３年度（2028）年度		３年平均増減率（基準年度比）	
温室効果ガスの排出の量	事業活動に伴う排出の量	65.7	トン	60.2	トン	54.0	トン	51.9	トン	-15.7	パーセント
	グリーン電力証書や非化石証書等の購入によるもの削減量		トン	14.0	トン		トン		トン		
	評価の対象となる排出の量	58.1	トン	46.2	トン	54.0	トン	51.9	トン	-12.7	パーセント
年度ごとの増減率（基準年度比）				-20.5	%	-7.1	%	-10.7	%		
目標の根拠		クリーニング事業部山科・吉祥院工場を統合し、新たな洗濯・脱水・乾燥の各工程のエネルギー使用の最適化を行い、高効率リネン設備に更新し省エネを実現する。									

具体的な取組及び措置の内容	１年目	高効率リネン設備の導入と共に、蒸気ドレンから回収するフラッシュ蒸気を利用を継続し削減を目指す。
	２年目	上記設備の管理を徹底し、機械の適正な運転と節電の意識づけを強化に努める。
	３年目	各種設備の稼働状況を徹底管理する。
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	品質管理の徹底による不良品削減及びペーパーレス化の推進。節電・節水・ごみ分別といった省エネ活動を社内で再度推進。	
特　記　事　項		

注　１　該当する□には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。
　　２　「細分類番号」とは、統計法（平成19年法律第53号）第２条第９項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。
　　３　「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の３年度の事業活動に伴う排出の量の平均をいいます。